

# 研究開発室 活動報告

## サロマ湖のアサリ漁場で

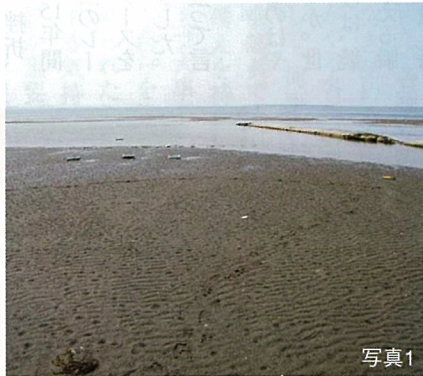


写真1



写真2

サロマ湖にあるアサリ漁場(写真1)で、昨年の夏ごろから、小さなアサリがたくさん目に付くようになりました(写真2)。漁場の上を歩くと、足跡の形に小さなアサリが姿を現し、白い足型のハンコを押して歩いているようにでした。

北海道のアサリは、年に1回、産卵期があります。アサリはオスとメスがいて、9月ころ水管

から肉眼では見えない大きさの精子や卵子を海水中に出して、それらが海水中で受精し3週間ほど海水中を漂います。その間に0.2〜0.3ミリくらいの大きさのアサリに成長して、海底に降りていき、砂の中の生活が始まるそうです。ちなみに暖かい本州では春と秋に産卵期があります。

昨年の夏にサロマ湖のアサリ漁場で見たのは、平成16年の秋

に生まれたアサリの子供たちと考えられました。

このアサリ漁場では、小さなアサリの成長を追跡調査していませんので、今年6月からアサリの殻の大きさを1ヶ月に1回測定し始めました。写真3に示すように殻の一番長い部分を殻長と呼び、この長さを測りました。

6月に平均16ミリだったアサリの子供たちは9月には平均23ミリになりました。3ヶ月間で約7ミリ大きくなったことになりました。ア

サリは、水温が低い冬は殻が大きくなりません。サロマ湖では、おそらく4月下旬〜5月上旬に殻の成長が始まり、11月中旬ころに成長が止まってしまうと推測されます。写真3は9月調査時のアサリです。去年の冬までの大きさを黄色の線で、今年6月に調査を始めた時の大きさを水色の線で示しました。今年の調査は6月から始めているので、



写真3

4月下旬ころの成長開始から11月中旬ころの成長停止までを考えると、おそらく15ミリ程度、成長するのだと考えられます。

この3ヶ月間の調査から推測して良いのかは疑問ですが、生まれてから4〜5年で漁獲サイズ(40ミリ前後)になるようです。この小さなアサリ達が、早く大きくなって漁獲されるようになって欲しいものです。